



第24回 全日本学生選手権クリテリウム大会 大会要項

V20220430

主催 日本学生自転車競技連盟 / 自転車月間推進協議会
 主管 日本学生自転車競技連盟
 協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)

大会日程 2022年5月19日(木) チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者 Zoom 会議 20時より
 2022年5月22日(日)
 7:00~7:30 選手受付(ライセンスコントロールはwebで行い、ゼッケン・プレート配布のみ)
 8:00 競技役員・立哨役員打ち合わせ
 8:30 立哨配置開始
 9:15 男子スタート
 9:20 女子スタート
 10:30 競技終了
 11:30 表彰式
 14:30 立哨員解散(予定)

会場 東京都品川区八潮 大井埠頭周回コース 1周 7km

大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した全国の学生選手によるクリテリウム優勝者を決めることで、学生競技力向上に寄与し、ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)を観戦する一般観客に学生スポーツを周知する大会とする。また、参加学生競技者においてはトッププロの走りを間近で見る機会を提供し、競技に対する意識を高め、自転車競技の振興と競技力向上の一助とする。

競技種目 クリテリウム 男子 6周回(42km)、女子 4周回(28km)

参加資格 1. 当該年度に有効な、(公財)日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録選手であること。男子はロードカテゴリ1および2の競技者で最大120名とし、参加申込者数が120名を超えた場合、下記の順で参加者を選出する。当日不出走の選手がいても繰上げは行わない。

- (1) 前年度ロード選手権ランキング
- (2) 本年度ロード・クラス1、RCSランキング
- (3) 本年度ロード・クラス2、RCSランキング
- (4) 上記にて定員に達しない場合、前年度RCSランキング

2. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一一生じた如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。

3. また、試合に参加するにあたって本大会参加選手並びにチームスタッフについては、前項の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿った感染防止対策として本連盟HP上の以下アドレスに掲載してある「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。順守事項が守られていない場合には本大会への参加を認めない。

「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」<https://jicf.info/covid-19-pandemic-events-protocols/>

尚、本通知の他に、大会ごとに必要な事項を取りまとめた感染防止対策に関するコミュニケを別途発表する場合もあるので、注意すること。

4. 下記の選手数(男女合計)に応じた最少立哨役員数の供出を参加のための必要条件とする。

参加選手数(男女合計)	供出立哨役員数(東京及び隣接県の学校)	供出立哨役員数(左記以外)
1	1	1
2~3	1	1
4~5	2	1
6~7	3	2
8以上	選手2名につき1名 (少数点以下切り捨て・最低数)	選手3名につき1名 (同左)

立哨役員は、コース上の指定された箇所(合計約30カ所)に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり自転車競技のスピード感や走行特性について体得している当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。但し、立哨役員は本大会参加選手並びにチームスタッフと同様に「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。立哨役員には日当・昼食を支給する。(但し、交通費・宿泊費の支給は行わない)。立哨役員供出が必要となるチームは立哨員氏名、性別、学年又は年齢および有資格(審判・チームアテンダント)のライセンス番号をエントリー用紙に必ず記入すること。

(※注)立哨役員については、学連大会終了後、ツアー・オブ・ジャパン本戦においても同配置にて立哨執務を行うことを必要条件とする。

5. さらに本大会の参加各校については、エントリー選手数(男女合計)に応じて、以下の通り役員を供出す



ることも参加条件とする。エントリー6~12名で1名、13~20名で2名、21名以上は3名とする。供出役員に審判ライセンスの有無は問わない。但し、供出役員は本大会参加選手並びにチームスタッフと同様に「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。

なお、供出役員については1名につき3000円までのPCR検査費用もしくは抗原検査の費用を実費で補助し、昼食を支給する（但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない）。また、供出役員の氏名、性別、学年又は年齢および有資格（審判・チームアテンダント）のライセンス番号をエントリー用紙に必ず記入すること。

6. エントリー用紙に記入した立哨役員名および供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに事務局宛に変更後のエントリー用紙をメールで送ること。尚、変更後の者についても前項3.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを条件とする。また、当日エントリー選手数が減少した場合でも、立哨役員名および供出役員の人数は減らすことはできない。また、立哨役員名および供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代替りの者を出すこと。代替りの者を出せない場合には、該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科すことを原則とする。但し、新型コロナ感染の陽性者が出たことで、一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。立哨役員および供出役員についての対応を協議した上で改めて指示する。詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。

- 参加申込
1. 参加を希望する選手は、学校、チーム単位で所定の様式にて4月25日（月）までに日本学生自転車競技連盟宛に申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス（2020jicf.championship@gmail.com）への到着をもって参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはFAXにて事務局宛で期限内に送付すること。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
 2. 参加申込者数が120名を超えた場合には、上記の参加資格1.の方法により選出を行い、本連盟HP上に120名の参加申込可能者のリストを掲載する。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、本エントリー手続きが完了する。なお、120名の参加申込可能者のリストが掲載されるか、または申込者全員が参加申込可能者である旨の発表があるまで参加料を振り込むではない。男女とも振込期限はその発表の際に指定するので、それ以前に振り込まないこと。
 3. 参加費は1名につき6,000円とし、参加料の送金は銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元に大会コード0522と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。
振込口座：長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9683745 口座名：日本学生自転車競技連盟
参加料振込完了後、受付完了者リストを本連盟webサイトに発表するので、各自受付済みであることを確認のこと。
 4. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した経費を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
 5. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず（怪我等の正当事由がない場合でも）ペナルティを課さないこととする。ただし、必ず事前に事務局（jicf@remus.dti.ne.jp）まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合には参加料は返却しない。
- 会場入場
1. 本大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、大会役員、メディア関係者、その他の関係者は前述の参加資格3.にあるように、本連盟のHP上に掲載してある「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを入場の条件とする。尚、本大会における観客を含む来場者に対する規制の詳細については、別途発表するコミュニケを参照すること。
 2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手数+1名を上限（選手1名ならば、2名まで）として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、参加資格4.5.の立哨役員と供出役員についてはチームスタッフの合計人数に含まない。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場への入場を許可しない。
 3. エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフについても前述の参加資格3.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを変更の条件とする。
 4. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛へ提出ください。また、選手の参加資格2.にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、メディア関係者についても前述の参加資格4.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを来場の条件とします。もし、順守事項が守られていない場合には競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員の方の安全のためご理解ください。
- 選手受付
1. ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケ発表の受付場所にてゼッケンとプレートを受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は

該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

2. 本大会は出走前の出走サインは行わない。また、参加選手は自転車・ヘルメットを持参して出走15分前までにバイク・インスペクションをセルフチェックで行うこと。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。自転車器材については選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

- 賞典・式典
1. 開会式・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。表彰式は第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第TOJ特設ステージにて（予定）行う。
 2. 男子選手は、優勝者にチャンピオン・ジャージ、賞品、賞状を授与し、2・3位には賞品、賞状を、4位から8位までに賞状を授与する。
 3. 女子選手は、優勝者にチャンピオン・ジャージ、賞品、賞状を授与し、第3位以内に賞品、賞状を授与する。

- 事故措置
1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
 2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリックススクエア408
Tel 090-2207-2369（兼当日緊急連絡先） Fax 03-6804-2329

第24回 全日本学生選手権クリテリウム大会 特別規則

第1条（競技）

1. 男子は完走周回数と、中間スプリントで与えられる得点を基に最終順位を決定する。周回数において同等の場合は、得点の多寡による。周回、得点において同等の場合は、中間スプリントの勝数による。以上においても同等の場合は、最終スプリントの順位による。中間スプリントとして、男子については毎周回、フィニッシュラインを通過した先頭から5点、3点、2点を与える。最終ゴールは通常の2倍の得点を与える。
2. 女子は、最終周回の着順によって順位を決定する。
3. 飲食料の補給は認めない。
4. 代車（バイクチェックを事前に受けること）、代輪の交換は認められる事故の場合に別途コミュニケ発表の指定箇所のピットにおいて可能とするが、基本的に各チーム1名のみでの待機とし、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにあけること。
5. 競技役員により確認された認められる事故の場合、最後の2周回を除き1週のニュートラリゼーションが与えられる。

第2条（失格・棄権）

1. 原則としてメイン集団より約1分間以内にフィニッシュできないとコミッセールにより判断された選手は、失格とする。
2. 競技を中止した選手は、周囲の安全確認のうえコースを出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第3条（その他）

1. コース沿道の移動は徒歩とし、自転車を持っての移動は観客との接触を十分に注意すること。
2. 指定された場所以外での食料の残り・包装等、あらゆる固形物の投げ捨てはコースの内・外、レース中・外を問わず固形物1点につき3,000円のペナルティを科す。
3. ジュニアのギア比の制限は翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。レースの前後に適宜ギア比の検査を行うことがある。
4. 公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。



第 4 条 (チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者会議)

2022年5月19日(木)20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者・感染対策責任者会議を行う。参加チームの監督、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者E-mailアドレスに送付します。大会会場への移動中などにより会議を欠席する場合は、必ず会議前日の22時00分までに学連携帯090-2207-2369へ連絡をし、事務局(jjcf@remus.dti.ne.jp)までその旨のメールを送り、事務局の許可を得ること。尚、無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

※注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。